

ここが聞きたい! 一般質問

質問
市内の自殺の現状及び予防策への取り組みはについて伺う。

市長答弁
自殺の現状については、過去10年では平成14年の25人をピークに減少しており、ここ数年は20人前後で推移している。中でも、50歳代、60歳代の男性と、70歳代、80歳代の女性に多いことが特徴となっている。

市長答弁
自殺の現状については、過去10年では平成14年の25人をピークに減少しており、ここ数年は20人前後で推移している。中でも、50歳代、60歳代の男性と、70歳代、80歳代の女性に多いことが特徴となっている。

自殺予防策への取り組みは

池田 達員
議員

市内の自殺の現状と対策は



質問
プラン達成のための関係機関とのかかわりは

市長答弁
関係機関とのかかわりについては、交流人口拡大プランの素案を関係機関や団体に示し、意見や指導をいただきで策定したものであり、今後もそれぞれ該当する事業で調整を図りながら進めていく。数値目標については、観光

渡辺 重雄 員
交流人口拡大プランを達成するためには

市長答弁
関係機関とのかかわりについては、交流人口拡大プランの素案を関係機関や団体に示し、意見や指導をいただきで策定したものであり、今後もそれぞれ該当する事業で調整を図りながら進めていく。数値目標については、観光

質問
海岸漂着物の現状と発生抑制対策は

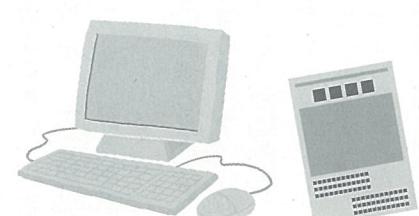
市長答弁
海岸漂着物の現状及び処理推進法に基づく取り組みの具体化と市民への啓発活動について伺う。

質問
市民への啓発活動について不法投棄の防止対策に努めている。

市長答弁
市民への啓発活動については、不法投棄が海岸の漂着物につながることを啓発していく。



「処理推進法」に基づく取り組みの具体化については、不法投棄の防止対策に努めている。



入込客数、宿泊客数は高い数值目標と考へている。8月までは世界ジオパークの実現を目指す取り組みを中心にしてきたので、本年度は緊急的な事業から取り組んでいる。作成した計画なので、今後も

関係機関や団体との対応について十分な協議や調整を行い、数値目標についてもローリングの中で改編していく。

効果的な広報公聴のあり方は

広報公聴活動の仕組みと課題及び各種要望の現状と対応について伺う。

市長答弁
市民への情報発信は、広報紙やホームページ、防災行政無線、能生ケーブルテレビ、安全安心メール、地区訪問懇談会等により行っている。課題としては、広報紙やホームページは情報が市から市

民へ一方向に限られていることである。また、地区訪問懇談会は、巡回して行っているため、情報伝達に時差が生じてしまうことや、参加者が少ないこと等がある。